

# ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年2月23日～2017年3月1日)

平成 29 年(2017 年)3 月 3 日

H E A D L I N E S

## 政治

憲法法廷の新判事の就任  
 カチンスキ「法と正義」(PiS)党首, トウスク欧州理事会議長の再選への反対姿勢を表明  
 共産主義時代の迫害兵士を追悼する記念式典の実施  
 外務省, 欧州委員会ワルシャワ事務所長に説明要求  
 シュチェルスキ大統領府国務次官, ワイマール・トライアングル会合に出席  
 米軍大型車両, 北西部で車両事故  
 ベラルーシ国防大臣, ザパド演習にロシア軍の入国を合意と発表  
 ロシア国防大臣, ミサイル旅団の換装を年内に終了と発表  
 掃海艇ヴィグリ, スクアド訓練17に参加  
 国防副大国家安全保障局長官, 英国訪問  
 国防副大臣, 要人輸送機の運用は今秋と発表  
 リトポルウク旅団司令部, 危機管理対応訓練を実施  
 ジマ17演習, 終了  
 ドヴォルチク国防副大臣, 就任  
 シドゥウォ首相, メルケル独首相と電話会談  
 ヴァシチコフスキ外相, ジョンソン英外相とウクライナを共同訪問

## 経済

廃棄物分別ルールの導入  
 1月の失業率  
 ポーランドへの海外直接投資動向  
 2016年第4四半期の経済成長率  
 経済開発省, ポーランドがフィンテックの拠点となることに期待  
 ポーランドの電子商取引市場は400億ズロチ規模  
 英国のEU離脱後に帰国する在英ポーランド人数  
 ポーランド家具産業  
 石炭火力発電所の排出基準の例外適用を要望  
 EU環境大臣理事会, EU-ETSへの立場を決議

## 大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意  
 パスポートダウンロード申請書のご案内  
 大使館広報文化センター開館時間  
 文化行事・大使館関連行事

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！  
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

## 政 治

## 内政

憲法法廷の新判事の就任【2月24日及び27日】

2月24日、下院は、任期途中にて辞任するウルベル憲法法廷判事の後任に、イェドゥレイェク判事を選出した。同判事は27日にドゥダ大統領による任命を受け、正式に就任した。現政権の認識に基づくと、イェドゥレイェク判事の就任によって、憲法法廷の判事(定員15名)の過半数が現下院にて選出されたこととなる。

カチンスキ「法と正義」(PiS)党首、トウスク欧州理事会議長への反対姿勢を表明【2月28日】

2月28日、与党PiSのカチンスキ党首は、トウスク氏はEUの基本的なルールを破って来ており、欧州理事会議長職にあつてはならない、ポーランド政府は同人の再選を支持しない旨発言した。トウスク欧州理事会議長への再選は、3月9・10日の欧州理事会

にて決定する見通しである。なお、27日付の英国FT紙は、ポーランド政府がトウスク議長の代わりにサリウシュ＝ヴォルスキ欧州議員を候補として支持する可能性を報じている。

共産主義時代の迫害兵士を追悼する記念式典の実施【3月1日】

3月1日、共産主義時代における迫害戦士の追悼記念日を迎え、ワルシャワ市内の無名戦士墓地にて記念式典が実施され、ドゥダ大統領等が出席した。ドゥダ大統領は、共産主義時代に地下抵抗活動を行った迫害兵士の英雄的な活動につき現在我々が声を大にして語れるのは、彼らの記憶を現在まで伝えた家族のおかげである旨述べた。

## 外交・安全保障

外務省、欧州委員会ワルシャワ事務所長に説明要求【2月23日】

2月23日は、外務省は、ブラウダ欧州委員会ワルシャワ事務所長を外務省に呼び、同事務所がポーランド政府の司法改革案を含む当国の法の支配の現状に関する批判的な分析報告書をブリュッセルに提出したとの報道に関し、詳細説明を求めた。27日、ヴァンチコフスキ外相が同報告書はポーランドを嘲笑するものである旨述べ、強い批判姿勢を示した。

シュチェルスキ大統領府国務次官、ワイマール・トライアングル会合に出席【2月23日】

2月23日、シュチェルスキ大統領府国務次官は、パリにて開催されたワイマール・トライアングル(ポーランド、独、仏による対話枠組)首脳補佐官会合に出席し、対米関係、EU・NATO関係を含む安全保障課題及びウクライナを中心に意見交換した。

米軍大型車両、北西部で車両事故【23日】

23日、エイブラム戦車を輸送中の米軍大型車両は、ポーランド北西部ミロスワヴィツェにて、民間車両と接触したが、負傷者は発生しなかった。

ベラルーシ国防大臣、ザパド演習にロシア軍の入国を合意と発表【23日】

23日、ラブコフ・ベラルーシ国防大臣は、ベラルーシ・ロシア両国の大統領の合意に基づき、ザパド17演習において、ロシア軍の人員と装備をベラルーシ国内に展開させることを決定したと発表した。また、同大臣は、本演習は、集団安全保障の強化するた

めに行うもので、ロシア軍を含む参加部隊は全て統制できており、第三国を攻撃するための演習ではなく、防衛的な性格である旨述べた。本演習は、隔年で実施されている。

ロシア国防大臣、ミサイル旅団の換装を年内に終了と発表【24日】

24日、ショイグ・ロシア国防大臣は、ミサイル旅団の装備する地対地ミサイルをイスカンデル・ミサイルに換装する作業が2017年内に終了する旨発表した。

カリニングラードに所在するミサイル旅団は、現在イスカンデル・ミサイルが展開中であるが、旧式のトチューカ・システムから正式にイスカンデル・ミサイルに換装される。

掃海艇ヴィグリ、スクアド訓練17に参加【24日】

25日～3月10日、第8沿岸防衛艦隊所属の掃海艇ヴィグリは、デンマーク海峡にて行われるスクアド訓練17に参加した。同訓練は、ドイツ・スウェーデンも参加する多国間訓練で、機雷対処、水路啓開等の課目が実施される。

国防副大国家安全保障局長官、英国訪問【26～1日】

26～1日、ソロフ国家安全保障局長官は、英国を訪問し、昨年より定期開催されている政府間協議に参加すると共に、政府関係者、NATO統合軍海軍司令官等と意見交換した。同長官は、協議において、NATO大隊戦闘団の一部としてポーランド北東部に

展開する英国軍の150名は、3月末にオジェシュに移動すること、GDPの2%以上の国防費を有する国として「2%クラブ」を創設すること、英仏間の防衛技術協力等の協力関係を築いた英国・ポーランド間の二国間協力関係設立を将来目指すこと等が議論されたと述べた。

**国防副大臣、要人輸送機の運用は今秋と発表【27日】**

27日、コブナツキ国防副大臣は、要人輸送機の納入は6月、同機の運用開始は秋になる旨発表し、技能習得のため、操縦手と技術者を米国に派遣すると述べた。また同副大臣は、要人輸送機を8機保有する計画を明らかにした。現在の契約は、14人乗り、約5000km以上の航続距離を持つ、米国ジェネラル・ダイナミクス社のガルフストリームG550を2機導入する予定である。

**リトポリウク旅団司令部、危機管理対応訓練を実施【27～3日】**

27～3日、リトアニア・ポーランド・ウクライナ旅団司令部は、危機管理対応の訓練であるブレーバン17訓練を行った。

**ジマ17演習、終了【28日】**

28日、国防省は、20日から実施していた、国防戦略に基づく新体制の検証を目的とするジマ17演習が終了したと公表した。同演習は、新設の戦術大学(旧国防大学)が企画し、国防省、司令部等1700

名以上が参加し、シミュレーションを使用して行われた。

マチュレヴィチ国防大臣は、訓練修了式において、演習を通じ、新体制の効率性は、いかなる脅威にも対応しうることを実証できたと述べた。

**ドヴォルチク国防副大臣、就任【1日】**

1日、国防省は、ドヴォルチク国防副大臣を任命し、国防副大臣が2名体制となったと発表した。同副大臣は、主に領域防衛部隊を担当する。

**シドゥウオ首相、メルケル独首相と電話会談【3月1日】**

3月1日、シドゥウオ首相はメルケル独首相と電話会談し、9・10日の欧州理事会に向けた欧州情勢等に関する意見交換を行った。次回の欧州理事会では、経済、安全保障及び難民問題に焦点が当てられる他、欧州理事会議長の見出しが行われる。

**ヴァシチコフスキ外相、ジョンソン英外相とウクライナを共同訪問【3月1日】**

3月1日、ヴァシチコフスキ外相は、ジョンソン英外相と共にウクライナを訪問し、ポロシェンコ大統領及びフロイスマン首相等と会談した。同外相は、会談後に、ドンバス情勢は益々厳しくなっており、ロシアはミンスク合意を遵守していない、ノルマンディー・フォーマット及びミンスク・フォーマットによる対話は問題解決には至っておらず、両フォーマットの拡大も可能である旨述べた。

経 済

経済政策

**廃棄物分別ルールの導入【27日】**

環境省によれば、7月1日より、金属とプラスチックは黄色、紙類は青、ガラスは緑、生ゴミは茶色のボックスに分別するルールが全国で導入される。乾電池

等の有害廃棄物については別途収集場所が設けられる。地方自治体は、5年以内に新しい回収ボックスを整備し、2021年6月30日までに現在の回収制度を終了させることが求められている。

マクロ経済動向・統計

**1月の失業率【23日】**

中央統計局(GUS)によれば、1月の失業率は8.6%。民間経営者連盟(Lewiatan)のエコノミストによれば、この数字は12月の8.3%を上回るものの、1月としては26年ぶりの最低値とのこと。なお1月の登録失業者数は1,397,100人。24日、ラファルスカ家族・労働・社会政策大臣は、2017年末には8%まで下がる見込みと発言した。

対前年比約70%増となっている。この数字は中東欧地域で最大であり、ハンガリーがこれに次いでいる。専門家によれば、物流アクセス、労働コスト、高技術労働者における好条件等が主な要因とのこと。

**2016年第4四半期の経済成長率【1日】**

中央統計局(GUS)によれば、2016年第4四半期の経済成長率は対前年同期比2.7%であり、主な要因は消費増と輸出増に加え、投資の減少率の低減とのこと。

**ポーランドへの海外直接投資動向【1日】**

2016年のポーランドへの海外直接投資計画は108億ドル相当(約440億ズロチ)の311件であり、

## ポーランド産業動向

**経済開発省、ポーランドがフィンテックの拠点となることに期待【23日】**

経済開発省は、エミリエヴィツ次官を中心に、ポーランドをフィンテックの拠点とするべく計画を進めている。同次官は、英国のEU離脱によりロンドンの金融機関が移転先を探す中、同計画の立ち上げは最適なタイミングであるとし、ポーランドの優秀な人材や様々な要求を吸収している市場はフィンテックに向いているとしている。同省では、これとは別に企業間でのキャッシュレス決済を推進するための事業も立ち上げている。

**ポーランドの電子商取引市場は400億ズロチ規模【23日】**

Rzeczpospolita 紙は、Eurostat のデータや関係者の話を踏まえ、2017年のポーランドの電子商取引市場の規模は400億ズロチに達すると報道した。昨年、インターネットで購入する消費者が増加し、今後もこの傾向が続くとしている。利用率がEU平均より下回っていることは逆に増加の余地があると同紙は指摘している。また、業界の関係者の話として、従来型の店舗がインターネット取引を導

入しているほか、議会で議論されている日曜商取引禁止法案では、規制対象とならない電子商取引の利用を加速するとの指摘を紹介している。

**英国のEU離脱後に帰国する在英ポーランド人数【27日】**

経済開発省は、議会からの質問に対し、英国のEU離脱に伴い10~20万人の在英ポーランド人移民が帰国すると見込んでいる旨回答した。人口動態の変化や高度労働力不足への対応の観点から、英国での就業経験のある国民は重要とするとともに、国内で起業する機会を与えることは重要であると指摘した。

**ポーランド家具産業【27日】**

専門家によれば、ポーランドの家具生産高は世界で第6位、輸出額は世界で4位とのこと。2016年の家具生産高は約425億ユーロで、世界の家具輸出高の6.3%を占めている。8割以上が零細企業で、主にドイツ、英国、チェコ、フランス、オランダに輸出している。

## エネルギー・環境

**石炭火力発電所の排出基準の例外適用を要望【27日】**

ポーランド政府は、欧州委員会におけるエネルギー市場に関する提案の中で、石炭火力発電所におけるCO2排出の制限値に反対している。27日の欧州委員会エネルギー担当閣僚理事会において、トフジェフスキ大臣は、石炭へのエネルギー依存度は、かつての99%から80%へと改善していると述べた。政府は欧州委員会に対しCO2排出制限の例外適用を求めている。同大臣は安定なエネルギー供給の欠如は大停電の発生につながるとし、ポーランドにおける再生可能エネルギーは電力の安定供給を保障するに至っていないと指摘した。さらに、ポーランドは二酸化炭素排出問題を深刻に受け止めており、石炭火力の技術革新を通じて対

応していくと述べた。

**EU 環境大臣理事会、EU-ETSへの立場を決議【28日】**

EU 環境大臣理事会はEU排出量取引制度(EU-ETS)改正案についての立場を決議した。ポーランドを含む9か国が同提案への反対を表明した。シシュコ環境大臣は、ETS改正案はポーランドのエネルギー部門への破壊的な影響を与えるものであり、パリ協定とは関連していないと述べた。決議の結果、EU 理事会としては2021年から排出枠を年間2.2%ずつ削減することを支持することになるが、ポーランドは石炭ベースでの電力価格の引き上げに繋がると懸念している。

## 大使館からのお知らせ

**長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意**

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生していませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

### **パスポートダウンロード申請書のご案内**

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3\\_001509.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html)

### **【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間**

月曜日9:00-19:00 火曜～金曜日9:00-17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22-584- 73 00，Eメール：[info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp)，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

## 文化行事・大使館関連行事

### **【開催中】日本の浮世絵展「女：美・カ・忘我」【2月14日(火)～5月3日(火)】**

クラクフ国立博物館にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催中です。浮世絵の他、着物、帯、屏風、鏡、かんざし等も展示されています。

開催場所：クラクフ国立博物館，Al. 3 Maja 1

詳細：<http://mnk.pl/wystawy/onna-piekno-sila-ekstaza>

### **【開催中】「江戸への旅」浮世絵展【2月25日(土)～5月7日(日)】**

ワルシャワ国立博物館にて、イェジ・レスコヴィッチ氏所蔵コレクションによる浮世絵展が開催中です。

開催場所：ワルシャワ国立博物館，Aleje Jerozolimskie 3

詳細：<http://www.mnw.art.pl/>

### **【予定】日本語弁論大会【3月11日(土)12:30～】**

在ポーランド日本国大使館広報文化センターにて、第38回日本語弁論大会が開催されます。ポーランド人日本語学習者(高校生及び大学生)による日本語のスピーチと質疑応答が披露されます。入場無料。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター，Al. Ujazdowskie 51

詳細：[http://www.pl.emb-japan.go.jp/itpr\\_pl/benron2017.html](http://www.pl.emb-japan.go.jp/itpr_pl/benron2017.html)

### **【予定】第13回欧州空手選手権大会「ローニンカップ」【3月11日(土)～12日(日)】**

ドンブロヴァ・グルニチャにて、学生スポーツクラブ「ローニン」主催によるイベント「第13回世界伝統空手連盟・松涛館空手連盟欧州空手選手権大会 ローニンカップ」が開催されます。

開催場所：ドンブロヴァ・グルニチャ（シロンスク県），「セントラム」スポーツホール，Aleja Róż 3

詳細：<https://europaronincup.karatecup.pl/>

### **【予定】ザブジェ市 U17 国際ユースカップ【3月25日(土)～26日(日)】**

ザブジェにて、サッカー選手権大会「U17 International Youth Cup」が開催されます。広島県の高校選抜選手によるチームが参加し、ポーランドや周辺諸国のチームと対戦します。

開催場所：ザブジェ（シロンスク県），Walka Zabrze チームのスタジアム，ul. Jaskółcza 40

詳細：<https://www.gornikzabrze.pl>

**【予定】第7回国際新極真空手選手権大会「コビエジツェカップ」【4月1日（土）10時～】**

コビエジツェにて、コビエジツェ文化・スポーツセンター主催によるイベント「第7回国際新極真空手選手権大会「コビエジツェカップ」」が開催されます。

開催場所:コビエジツェ（ドルヌイ・シロンスク県）、スポーツホール、ul. Dębowa 20

詳細:<https://www.facebook.com/Kobierzyce-Cup-1394437520853108/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 [news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)（ご連絡は電子メールでお願いします。）